

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 8日更新

事務事業名		運営協議会事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸	所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 繁之
	施策	6	健康づくりの推進	所属課	健康ほけん課	担当者名	毛利 一生
	業務分野	24	保険医療制度の健全な運営	所属班	保険年金班	(内線)	1186
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	国民健康保険法第11条
	国保	1	3	1	10388		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	国民健康保険法第11条により設置。市長から諮問のあった国保事業の運営に関する重要事項について審議し、その結果の意見を市長に答申する。 組織=被保険者を代表する委員4名、保険医又は保険薬剤師を代表する委員4名、公益を代表する委員4名によって構成。任期=3年(国民健康保険法の定めによる) 財政運営は一人あたり医療費の増加に伴い非常に厳しい状況にある。
【業務の流れ】	委員選任事務、会の開催通知、会の運営事務、報酬費用弁償の支払い事務等
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

国保予算及び決算関係についての運営協議会を5月、7月、8月、2月に開催し、延べ人数39人が出席した。9月24日に答申書の提出を行った。11月に県主催の研修会が行われ、6人の委員が参加した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

諮問に応じた運営協議会を4回開催、国保連合会主催の委員研修会へ1回参加予定

③予算の主な増減の理由

運営協議会の回数が減ることによる、報酬・費用弁償の減

成果指標

ア 協議会開催回数

(単位)

回

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	回	2	2	4	4	4	2	2	0
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円	155	157	611	467	355	355	355
一般財源	千円								
(A) 事業費計	千円	155	157	611	467	355	355	355	355

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

適切な協議会の開催および審議が実施できた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)